

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

番号	事業の名称	事業の概要	事業経費の内訳（実績）	事業 始期	事業 終期	A					事業の効果検証	所管課
						総事業費 （円）	B 国庫補助額 （円）	C 臨時交付金 充当額 （円）	D 一般財源 （円）	E その他 （円）		
					合計	249,362,210	21,514,000	218,616,000	8,232,210	1,000,000		
1	第1回マスク配布事業	新型コロナウイルス感染症の感染対策への支援を主な目的として、町民全員を対象に1人当たりマスク20枚を配布する。	・マスク等感染症対策物品（消耗品費） 3,829,540円 ・マスク郵送料（通信運搬費） 342,477円	R2.4	R2.6	4,172,017	0	3,172,017	0	1,000,000	マスク等が品薄状態で入手困難な中、町民全員へマスクを配布することができ、感染予防に役立てられた。	健康福祉課
2	新型コロナウイルス感染症対策備蓄品・備品整備事業	役場庁舎の新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク・消毒液・消毒機器等の感染症対策物品を購入する。	・マスク等感染症対策物品（消耗品費・備品購入費） 781,492円	R2.4	R2.10	781,492	0	781,492	0	0	不足していた役場庁舎内の感染症対策物品を充足できたことで、来庁者・職員の感染防止対策を実施することができた。	健康福祉課
3	感染症対策備蓄用資材整備事業	新型コロナウイルス感染症の感染対策として、追加で町民全員へ1人当たりマスク30枚を配布する。	・マスク等感染症対策物品（消耗品費） 3,068,278円	R2.6	R3.2	3,068,278	0	3,068,278	0	0	マスク等の感染予防品が品薄状態で入手困難な中、町民へマスクを配布することができ、感染予防に役立てられた。	健康福祉課
4	社会福祉施設感染症対策支援事業	新型コロナウイルス感染症の感染予防を講じながら事業を継続している社会福祉施設に対し、感染症対策物品を購入するための補助金を交付する。	・社会福祉法人感染症対策支援事業補助金（補助金） 2,000,000円×1法人＝2,000,000円 200,000円×1法人＝ 200,000円	R2.6	R3.1	2,200,000	0	2,200,000	0	0	事業所における感染症対策物品の購入に活用され、感染症対策及び事業継続に対する支援につなげることができた。	健康福祉課
5	いきいき百歳体操実施支援事業	今年度の新規事業であった「いきいき百歳体操」をリモートで実施するための環境を整備し、新型コロナウイルス感染症による外出自粛等で影響が生じている高齢者に対してフレイルの発生・進行予防を行う。	・プロジェクター・DVDプレイヤーなど（消耗品費） 148,868円	R2.6	R3.3	148,868	0	148,868	0	0	感染拡大に伴う外出自粛の影響を受ける高齢者のフレイル予防につなげることができた。	健康福祉課
6	防災活動支援事業①	災害時の町指定避難所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、衝立・消毒液・マスク等を購入する。	・マスク等感染症対策物品（消耗品費） 227,755円 ・微酸性次亜塩素酸水生成装置（備品購入費） 199,100円	R2.4	R2.8	426,855	0	426,855	0	0	消毒液やマスク等を備蓄することで、町指定避難所における適切な避難所運営が可能となった。	総務課
7	防災活動支援事業②	災害時の指定避難所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、衝立・消毒液・マスク等を購入する。	・マスク等感染症対策物品（消耗品費） 226,600円 ・マット等災害避難所用備品（備品購入費） 2,581,270円	R2.8	R3.2	2,807,870	0	2,807,870	0	0	消毒液やマスク等を備蓄資機材を整備することで、町指定避難所における適切な避難所運営が可能となった。	総務課
8	事業継続支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少し、事業継続が困難な町内の中小・小規模事業者への支援として、当町独自の給付支援策を講じることにより、事業者への経営支援を図る。	・事業継続支援金（補助金） 300,000円×2業者＝ 600,000円 150,000円×70業者＝10,500,000円 ・事業継続支援金受付事務業務委託（委託料） 312,000円	R2.6	R3.3	11,412,000	0	11,412,000	0	0	感染症の影響により売上が減少した町内事業者を支援することで、地域経済の維持と活性化が図られた。	地域振興課
9	新規事業者支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける町内の事業者で、国・県の支援金等の支援策が受けられない事業者を支援するため、当町独自の給付支援策を講じることにより、事業者への経営支援を図る。	・新規事業者支援金（補助金） 1,200,000円×1業者＝ 1,200,000円	R2.6	R2.7	1,200,000	0	1,200,000	0	0	感染症の影響により売上が減少した町内事業者を支援することで、地域経済の維持と活性化が図られた。	地域振興課

番号	事業の名称	事業の概要	事業経費の内訳（実績）	事業 初期	事業 終期	A					事業の効果検証	所管課
						総事業費 （円）	B 国庫補助額 （円）	C 臨時交付金 充当額 （円）	D 一般財源 （円）	E その他 （円）		
10	観光拠点施設指定管理者支援事業	観光拠点となる施設について、新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止を目的とした休業要請に応じ、事業収入が皆無となったため、固定費の負担を支援して経営支援を図る。	・指定管理委託料・支援金（委託料） 8,000,000円×1業者＝8,000,000円	R2.6	R2.6	8,000,000	0	8,000,000	0	0	感染症の影響による施設利用料の減収分を支援することにより、施設運営の安定化及び感染症拡大防止に寄与することができた。	地域振興課
11	観光施設等感染予防対策事業①	新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、町内の観光施設・事業所などに消毒液を配布する。	・消毒液（消耗品費） 582,120円	R2.6	R3.4以降	582,120	0	582,120	0	0	観光施設・事業所に消毒液を配布することによって、感染症の感染拡大防止につなげることができた。	地域振興課
12	観光施設等感染予防対策事業②	新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、町内の観光施設にアクリル衝立・屋外飲食用テーブル等を設置する。	・アクリル衝立（備品購入費） 95,370円 ・屋外飲食用テーブル等（備品購入費） 451,000円	R2.7	R2.8	546,370	0	546,370	0	0	観光施設にアクリル衝立・屋外飲食用テーブル等を設置することで、感染症の感染防止と安心して施設を利用できる環境整備を図ることができた。	地域振興課
13	観光施設等感染予防対策事業③	河川の河原を利用しようとするキャンプ客等に対し、自粛を要請するための看板を設置する。	・看板など（消耗品費） 193,258円	R2.4	R2.5	193,258	0	193,258	0	0	キャンプの自粛を要請することによって、密とならない等の基本的な感染症対策を徹底するとともに、地域住民の安全安心な環境づくりに寄与することができた。	地域振興課
14	小中学校新型コロナ対策物品購入事業①	小中学校における新型コロナウイルスの集団感染等のリスクを低減し、児童生徒が安心して学ぶことができる学習環境を整備するため、衛生消耗品等を購入する。	・マスク等感染症対策物品（消耗品費・医薬材料費） 995,597円	R2.4	R2.11	995,597	0	995,597	0	0	マスクや消毒液等の衛生消耗品を購入し、感染症対策を実施することで、学校における感染予防・拡大防止につなげることができた。	教育委員会
15	小中学校新型コロナ対策物品購入事業②	小中学校における新型コロナウイルスの集団感染等のリスクを低減し、児童生徒が安心して学ぶことができる学習環境を整備するため、衛生消耗品等を購入する。	・マスク等感染症対策物品（消耗品費・医薬材料費） 552,284円	R2.5	R3.2	552,284	0	552,284	0	0	マスクや消毒液等の衛生消耗品を購入し、新型コロナウイルス感染症対策を実施することで、学校における感染予防・拡大防止につなげることができた。	教育委員会
16	学生生活支援給付金事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学生生活に支障が生じることがないように、大学生・短期大学生等に対して1当たり50,000円の給付金を給付する。	・学生生活支援給付金（交付金） 50,000円×48人＝2,400,000円	R2.5	R2.10	2,400,000	0	2,400,000	0	0	大学生等に対して、給付金を臨時的に給付することによって、コロナ禍における経済的な負担を軽減することができた。	教育委員会
17	家庭学習支援臨時給付金事業	学校の休業に伴って家庭学習の機会・重要性が増している中で、小学生から高校生までの子どもをもつ保護者に対して、学習用品等の購入を支援するため、子ども1人当たり10,000円の給付金を給付する。	・家庭学習支援臨時給付金 10,000円×166人＝1,660,000円	R2.5	R2.10	1,660,000	0	1,660,000	0	0	保護者に対して、給付金を臨時的に給付することによって、コロナ禍における経済的な負担を軽減することができた。	教育委員会
18	社会福祉施設災害時避難所運営資材等整備助成事業	町内の社会福祉法人が備蓄する、災害時の避難に伴う資材・災害関係資材・新型コロナウイルス感染症対策資材の保管庫を整備する。	・社会福祉法人感染症対策備蓄倉庫設置事業補助金（補助金） 4,000,000円×1法人＝4,000,000円	R2.7	R3.3	4,000,000	0	4,000,000	0	0	感染症対策の資材等を保管する倉庫を設置することにより、災害・感染症に係る緊急事態においても、事業を継続するための体制を構築することができた。	健康福祉課
19	コロナ対策資材等保管庫整備事業	町保健福祉センター（地区の災害時避難所）に、災害時の新型コロナウイルス感染症対策資材等の保管庫を整備する。	・保管庫（備品購入費） 309,760円	R2.7	R2.10	309,760	0	309,760	0	0	感染症対策の資材等を保管する倉庫を設置することにより、災害・感染症に係る緊急事態においても、事業を継続するための体制を構築することができた。	健康福祉課

番号	事業の名称	事業の概要	事業経費の内訳（実績）	事業 始期	事業 終期	A					事業の効果検証	所管課
						総事業費 （円）	B 国庫補助額 （円）	C 臨時交付金 充当額 （円）	D 一般財源 （円）	E その他 （円）		
20	大型空気清浄機整備事業	町保健福祉センター（地区の災害時避難所）に、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、大型空気清浄機を整備する。	・業務用加湿空気清浄機（備品購入費） 2,343,000円	R2.7	R3.1	2,343,000	0	2,343,000	0	0	大型空気清浄機を整備することで、町指定避難所における適切な避難所運営が可能となった。	健康福祉課
21	高齢者見守り支援事業①（見守り隊拡充）	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、高齢者の寄り合いの場を設けることが難しくなっているため、現在の高齢者見守り隊事業を拡充して、アウトリーチ型の支援の充実を図る。	・社会福祉協議会補助金（補助金） 2,460,017円	R2.7	R2.12	2,460,017	0	2,460,017	0	0	見守り隊を拡充することによって、感染症の感染リスクを正しく認識して基本的な対策を徹底した上で、見守り・声かけ等のアウトリーチ型支援を継続することができた。	健康福祉課
22												
23	七川・三尾川診療所新型コロナ感染症感染防止対策備品整備事業	新型コロナウイルス感染症の院内感染等を防ぐために設置した発熱外来待合室の環境整備を図る。	・加湿空気清浄機など（備品購入費） 414,649円×2か所＝829,298円	R2.7	R2.11	829,298	0	829,298	0	0	発熱外来待合室を設置して環境整備を図ることによって、診療所内における感染症の集団感染を防ぐことができた。	健康福祉課
24	防災活動支援事業③	災害時の町指定避難所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、災害用トイレ・段ボールベッド・ジョイントマット等を購入する。	・災害用トイレ等災害避難所用物品（消耗品費・備品購入費） 6,896,649円	R2.8	R3.2	6,896,649	0	6,896,649	0	0	災害用トイレ等の災害避難所用物品を整備することで、町指定避難所における適切な避難所運営が可能となった。	総務課
25	庁舎施設感染予防対策事業	役場庁舎の新型コロナウイルス感染症の感染対策において、室内の換気の徹底を図るため、各フロアの窓に網戸を設置する。	・網戸設置業務委託料（業務委託料） 396,000円	R2.9	R2.11	396,000	0	396,000	0	0	網戸を設置して換気の徹底を図ることによって、施設内における感染症の集団感染を防ぐことができた。	総務課
26	特別定額給付金（生活支援）給付事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町民の家計への支援策として、町民全員に対して1人当たり10,000円の給付金を給付する。	・生活支援特別定額給付金 10,000円×2,590人＝25,900,000円	R2.8	R2.9	25,900,000	0	25,900,000	0	0	生活支援特別定額給付金を給付することによって、町民の不安を緩和するとともに、地域経済における消費喚起効果にも寄与した。	総務課
27												
28	GIGAスクール事業	国が進めるGIGAスクール構想を推進するため、学校のICT環境・PC端末を整備し、新型コロナウイルス感染症の影響下においても個別最適な学びの実現を図る。	・GIGAスクール用コンピュータ（備品購入費） 9,312,516円（〇〇台） ・GIGAスクール用コンピュータ運用保守委託料（委託料） 1,891,879円	R2.6	R3.3	11,204,395	5,308,000	5,895,103	1,292	0	コンピュータを用いて3密を避けながらグループ学習を進めることによって、学校における感染症の集団感染のリスクを避けながら、児童生徒が安心して学べる学習環境を整備することができた。	教育委員会
29	公民館施設感染予防対策事業	中央公民館の新型コロナウイルス感染症の感染対策において、室内の換気の徹底を図るため、各フロアの窓に網戸を設置する。	・網戸設置業務委託料（業務委託料） 352,000円	R2.9	R2.12	352,000	0	352,000	0	0	網戸を設置して換気の徹底を図ることによって、施設内における感染症の集団感染を防ぐことができた。	教育委員会

番号	事業の名称	事業の概要	事業経費の内訳（実績）	事業 始期	事業 終期	A					事業の効果検証	所管課
						総事業費 （円）	B 国庫補助額 （円）	C 臨時交付金 充当額 （円）	D 一般財源 （円）	E その他 （円）		
30	学校施設感染症予防対策事業	小中学校の新型コロナウイルス感染症の感染対策において、室内の換気の徹底を図るため、各フロアの窓に網戸を設置する。	・網戸設置業務委託料（業務委託料） 2,035,000円	R3.1	R3.3	2,035,000	0	2,035,000	0	0	網戸を設置して換気の徹底を図ることによって、施設内における感染症の集団感染を防ぐことができた。	教育委員会
31	観光客誘客事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光需要の早期回復を目指し、誘客を目的とした観光パンフレットを作成する。	・観光パンフレット印刷（印刷製本費） 2,237,400円	R2.10	R3.5	2,237,400	0	2,230,000	7,400	0	アフターコロナを見据えて町のPR・魅力を発信することによって、関係人口の増加に寄与することができた。	地域振興課
32	観光施設等感染予防対策事業④	観光拠点となる施設で、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、来店者用の体温測定機器を導入する。	・非接触型体温測定器（備品購入費） 316,580円（11台）	R2.10	R2.11	316,580	0	316,580	0	0	体温測定機器を設置して感染予防の徹底を図ることによって、施設内における感染症の集団感染を防ぐことができた。	地域振興課
33	観光施設等感染予防対策事業⑤	観光拠点となる施設で、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、飲食スペースが3密の状態にならないように、屋外でも飲食できるようテントを導入する。	・観光施設屋外飲食用テント（備品購入費） 1,801,800円	R2.10	R3.1	1,801,800	0	1,801,800	0	0	屋外飲食用テントを設置して感染予防の徹底を図ることによって、施設内における感染症の集団感染を防ぐとともに、コロナ禍においても事業継続することができた。	地域振興課
34	指定管理施設運営支援事業	「新型コロナウイルス感染症への対応に係る指定管理者制度の運用の留意点について」に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指定管理者に対して、施設管理運営を目的として支援する。	・指定管理委託料・支援金（委託料） 25,000,000円×1業者＝25,000,000円	R2.10	R3.3	25,000,000	0	25,000,000	0	0	感染症の影響による施設利用料の減収分を支援することによって、施設管理運営の安定化・観光産業の継続が図られ、町民の憩いの場の提供や観光客等の受入れの確保が維持された。	地域振興課
35	古座中学校空調設備整備事業	新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、分散授業を実施するに当たり、古座中学校の特別教室へも空調設備（付随する設備を含む。）を整備する。	・空調設備設置工事（工事請負費） 11,116,600円	R2.10	R3.7	11,116,600	0	3,446,000	7,670,600	0	学校における感染症の集団感染のリスクを避け、児童生徒が安心して学べる学習環境を整備することができた。	教育委員会
36	三尾川小学校屋内運動場空調設備設置事業	災害時の避難所ともなる三尾川小学校の屋内運動場に空調設備を設置することにより、新型コロナウイルス感染症の3密・熱中症対策を図る。	・エアコン（備品購入費） 2,143,900円	R2.10	R3.1	2,143,900	0	2,143,900	0	0	空調設備を設置することにより、町指定避難所における適切な避難所運営が可能となるとともに、学校における感染症の集団感染リスクを避けることにも寄与した。	教育委員会
37 ・ 38	小学校デジタル教科書導入事業①②	新型コロナウイルス感染症の影響下で自宅学習時間が増加している中、家庭学習向けの課題提供・学習後の課題の解答提供等を視野に入れ、デジタル教科書を導入する。	・デジタル教科書（備品購入費） 1,049,180円×3校＝3,147,540円（4教科）	R2.10	R2.11	3,147,540	0	3,147,540	0	0	デジタル教科書を活用することで、3密を避けながら子どもたちがグループワークを進めることができ、またコロナ禍におけるオンライン授業の実施体制を構築することにも寄与した。	教育委員会
39	夏季休業短縮に伴う学校関係会計年度任用職員配置事業	新型コロナウイルス感染症の影響下における学校の臨時休校期間の授業時間を補うため、夏季休業期間が短縮して授業を実施するに当たり、その増加した日数分の会計年度任用職員（特別支援教育支援員など）の報酬を計上する。	・会計年度任用職員報酬（報酬） 1,153,000円	R2.7	R2.9	1,153,000	0	972,400	180,600	0	授業日数を確保することによって、子どもたちの教育を受ける権利を保障することに寄与した。	教育委員会
40	保育所園庭用テント購入事業	新型コロナウイルス感染症の感染予防の中で、屋外・園庭での活動が増加しているため、熱中症対策も考慮してテントを購入する。	・スライドテント（備品購入費） 113,850円×2施設＝227,700円	R2.10	R2.12	227,700	0	227,700	0	0	テントを購入したことによって、コロナ禍においても子どもたちの安全な遊びの場、活動時間を確保することができた。	教育委員会

番号	事業の名称	事業の概要	事業経費の内訳（実績）	事業 始期	事業 終期	A					事業の効果検証	所管課
						総事業費 （円）	B 国庫補助額 （円）	C 臨時交付金 充当額 （円）	D 一般財源 （円）	E その他 （円）		
41	コロナ感染症対策資機材用倉庫購入事業	町指定避難所における新型コロナウイルス感染症対策の資機材を保管する倉庫を購入する。	・資機材保管物置（備品購入費） 1,336,500円	R3.2	R3.3	1,336,500	0	1,336,500	0	0	消毒液やマスク等を備蓄資機材を整備・保管することで、町指定避難所における適切な避難所運営が可能となった。	総務課
42	患者輸送車購入事業	新型コロナウイルス感染症の影響下においても、地域の患者・高齢者を安全に送迎する貴重な移動手段として、輸送車を導入する。	・患者送迎事業補助金（補助金） 3,364,335円	R2.9	R2.12	3,364,335	0	3,364,335	0	0	輸送車を導入することによって、地域住民を安全に病院・運動教室等へ送迎することができ、フレイル予防などにも寄与した。	健康福祉課
43	乳幼児健診用備品購入事業	乳幼児の眼科検診を、当町で実施している乳幼児健診の中で実施するため、必要な備品を購入する（当地域には眼科が少なく、受診するとすると、新型コロナウイルス感染症の感染リスクの高い地域に出向く必要がある。）。	・眼科検査機械 1,627,450円	R2.9	R2.12	1,627,450	0	1,627,450	0	0	当町内において眼科検診を実施することができた。	健康福祉課
44												
45	農業生産者支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、商品の販売が落ち込んでいる農産物加工業者に対して、昨年の仕入価格の半額を補助する。	・特産品生産者支援金 4,550,000円（51業者）	R2.12	R3.3	4,550,000	0	4,550,000	0	0	売上が落ち込んだ農産物加工業者に対して、事業継続を支援することができた。	地域振興課
46	特別定額給付金（生活支援）給付事業②	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、自宅で過ごす時間が増えたことによる光熱費等の家計負担への支援のため、町民全員に対して1人当たり10,000円の給付金を給付する。	・光熱費等生活支援特別定額給付金（交付金） 10,000円×2,577人=25,770,000円	R3.1	R3.3	25,770,000	0	25,770,000	0	0	生活支援特別定額給付金を給付することによって、町民の不安を緩和するとともに、地域経済における消費喚起効果にも寄与した。	総務課
47	学校保健特別対策事業費補助金	新型コロナウイルス感染症の感染対策の国庫補助金である学校保健特別対策事業補助金の町費負担分に充当する。	・電子黒板（備品購入費） 1,000,000円×4校＝4,000,000円（補助事業上限額） ・網戸設置業務委託料（委託料） 698,500円×1校＝698,500円	R2.10	R3.3	4,698,500	2,349,000	2,349,000	500	0	電子黒板の導入することによって、子どもたちの安全安心な学習環境を整備することができた。	教育委員会
48	小中学校オンライン学習推進事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備え、電子黒板を導入してオンライン事業の実施体制の構築を図る。	・電子黒板（備品購入費） 459,800円×15台＝4,000,000円＝2,897,000円 ※学校保健特別対策事業費補助対象の4,000,000円を差し引きする。	R2.10	R3.3	2,897,000	0	2,897,000	0	0	電子黒板の導入することによって、子どもたちの安全安心な学習環境を整備することができた。	教育委員会
49	公立学校情報機器整備費補助金	新型コロナウイルス感染症の感染対策の国庫補助金である公立学校情報機器整備費補助金の町費負担分に充当する。	・GIGAスクールサポーター報償（報償費） 866,250円（12回分）	R3.1	R3.3	866,250	433,000	433,000	250	0	GIGAスクール構想への教員の理解を深め、コロナ禍においても、学びの機会を確保するためのオンライン授業の環境整備を進めることができた。	教育委員会
50	庁舎等新型コロナウイルス感染症対策備品整備事業	新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、庁舎・保健福祉センターの玄関口に非接触発熱者検知サーマルカメラを設置する。	・AI体温検知カメラ（備品購入費） 531,300円	R3.3	R3.6	531,300	0	531,000	300	0	非接触発熱者検知サーマルカメラを設置することによって、来庁者・職員の感染防止対策を実施することができた。	教育委員会

番号	事業の名称	事業の概要	事業経費の内訳（実績）	事業 初期	事業 終期	A					事業の効果検証	所管課
						総事業費 （円）	B 国庫補助額 （円）	C 臨時交付金 充当額 （円）	D 一般財源 （円）	E その他 （円）		
51	対話支援システム機器導入事業	新型コロナウイルス感染症の感染リスクを軽減しつつ、聞こえに 支障がある方へのコミュニケーション支援を目的として、対話支援 システム機器を購入する。	・対話支援機器（備品購入費） 798,600円	R3.3	R3.8	798,600	0	798,000	600	0	対話支援システム機器のコミュニケーションを導入す ることによって、コロナ禍においても支援の必 要な方にサービスを提供することができた。	教育委員会
52	中央公民館新型コロナウイルス感染症対策備品 整備事業	新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、中央公民館の玄関 口に非接触発熱者検知サーマルカメラを設置する。	・AI体温検知カメラ（備品購入費） 531,300円	R3.3	R3.7	253,000	0	253,000	0	0	非接触発熱者検知サーマルカメラを設置す ることによって、来庁者・職員への感染防止対策を 実施することができた。	教育委員会
53	新型コロナウイルス感染症対策備品整備事業	新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、教育委員会が管理 する、保育所・子育て支援センター・中央公民館に、空気清浄機を 導入する。	・加温空気清浄機（備品購入費） 436,128円	R3.3	R3.7	436,128	0	436,000	128	0	空気清浄機を導入することによって、施設内 における感染症の集団感染を防ぐことができ た。	教育委員会
54	大学生等生活支援給付金事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店等のアルバイト 求人数が減少し、学生の生活に経済的負担が増加しているため、 1人当たり50,000円の給付金を給付する。	・大学生等生活応援給付金（交付金） 50,000円×41人＝2,050,000円	R3.3	R3.4	2,050,000	0	2,050,000	0	0	大学生等に対して、給付金を臨時的に給付す ることによって、経済的な負担を軽減するこ うであった。	教育委員会
55	テレワーク等環境整備事業	新型コロナウイルス感染症の影響の中、Web会議・研修の件数増加 に対応するため、庁内の機器整備を図る。	・Web資機材（備品購入費） 1,646,700円	R3.3	R3.12	1,646,700	0	1,646,000	700	0	テレワークの環境を整備することができ、実 際に多数のWeb会議を開催することができた。	総務課
56	古座川町地域振興券発行事業	町内の飲食店や小売店などを広く支援するため、1人当たり 10,000円の地域振興券を発行し、地域での消費喚起を促して地域経 済の活性化を図る。	・地域経済活性化商品券印刷（印刷製本費） 153,120円 ・地域経済活性化商品券郵送料（通信運搬費） 32,944円 ・地域経済活性化商品券事業補助金（補助金） 25,108,500円	R3.3	R3.12	25,294,564	0	25,294,000	564	0	地域振興券を発行することによって、コロナ 禍における町民の生活を支援するとともに、地 域経済の活性化に寄与することができた。	地域振興課
57	就学旅行中止に伴うキャンセル料補助事業	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となり、中学校が支出し たキャンセル料に対して全額補助する。	・就学旅行キャンセル料補助金（補助金） 322,959円	R2.12	R3.1	322,959	0	322,959	0	0	感染症の影響による就学旅行のキャンセル料 を支援することによって、保護者の経済的負担 を軽減することができた。	教育委員会
58	障害者支援給付金事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的負担が増加して いる障害のある方に対して、1人当たり30,000円の給付金を給付す る	・障害者支援給付金（交付金） 30,000円×33人＝990,000円	R3.3	R3.3	990,000	0	990,000	0	0	障害のある方に対して、給付金を臨時的に給 付することによって、経済的な負担を軽減す ることができた。	健康福祉課
59	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費 補助金	新型コロナウイルス感染症の感染対策の国庫補助金である公立学 校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金の町費負担分に充当 する。	・学校情報通信ネットワーク環境整備業務委託料（委託料） 23,650,000円（5校）	R2.8	R3.2	23,650,000	11,825,000	11,825,000	0	0	学校における感染症の集団感染のリスクを避 け、児童生徒が安心して学べる環境を整備す ることができた。	教育委員会
60	学校保健特別対策事業費補助金	新型コロナウイルス感染症の感染対策の国庫補助金である学校保 健特別対策事業費補助金の町費負担分に充当する。	・自動水栓設置業務等感染症対策業務委託料（委託料） 1,313,205円 ・パルスオキシメーター等感染症対策備品（備品購入費） 1,689,425円 ・消毒液等感染対策物品（消耗品費・医薬材料費） 258,646円	R3.6	R4.3	3,261,276	1,599,000	1,293,000	369,276	0	学校における感染症の集団感染のリスクを避 け、児童生徒が安心して学べる環境を整備す ることができた。	教育委員会